

平成27年度
那霸市若狭公民館
事業報告



平成27年度若狭公民館事業目次

1 学習風景（写真）	3
2 成人一般対象事業	
〔1〕市民講座	
◇帰ってきたわかさ妖怪さんぽ	4
◇春の料理教室	5
◇夏の料理教室	6
◇私にできること①～④	7
〔2〕成人講座	
◇マイナンバーの疑問お答えします。	11
〔3〕健康講座	
◇みんなで楽しくウォーキング「健康づくりの第一歩」	12
◇操作法	13
3 高齢者対象事業	
〔1〕高齢者学級	
◇認知症について正しく学ぶ	14
4 青少年対象事業	
〔1〕少年教室	
◇変身！ダンボールおもしろ講座	15
◇曙小学校プラスバンド部 夏季合宿	16
〔2〕青年のための講座・交流事	
◇ボーッとしないでVOTEしよう！どうする？18歳からの選挙権	17
〔3〕放課後子ども教室	
◇若狭公民館地域子ども教室	18
5 家庭教育事業	
〔1〕家庭教育学級	
◇子育て勉強会	19
6 その他の事業	
〔1〕地域連携事業	
◇第19回若狭地域文化祭	20
◇CGG年末美化清掃プラスONE	21
◇新春もちつき大会	22
◇100人で朝食会	23
◇第21回ナイトウォーク	24
◇曙小学校プラスバンド部立ち上げ支援	25
◇第19回若狭地域文化祭特別企画 上山中学校コスプレカフェ	26
〔2〕その他事業	
◇こども国際映画祭in沖縄（KIFFO）こどもワークショップ	27
7 第24回若狭公民館まつり	
	28

1 学習風景



2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

帰ってきた わかさ妖怪さんぽ

趣 旨：若狭地域の伝承を掘り起こし、身近なものとして理解できるように、伝承ゆかりの地をさんぽ形式で巡る。地域の伝承を学び自分たちの住む場所に愛着を持ってもらう。

日 時：平成27年4月11日（土）10：00～12：00

場 所：若狭公民館 第1研修室 及び周辺地域

参加者：15名

対 象：主に20歳以上の成人で、那覇市在住か、那覇市在勤の方優先

講 師：小原猛（『琉球妖怪大図鑑』著者）、三木静（イラストレーター）

学習プログラム

時 間	内 容	人 数
1 10：00～ 10：30	座学	15
2 10：30～ 12：00	伝承地巡り	15



（参加者の声）

- ・若狭に詳しくなかったのですが、マジムンのことを含め多くのことを知ることができて 楽しかったです（30代男性）
- ・色々な妖怪の背景があることを知り有意義でした、もっと深く知りたい（60代男性）
- ・自分の住む身近な場所をもっと知りたいと思ったので子供と調べてみようと思いました（40歳女性）
- ・今まで妖怪に興味がなかったけど話を聞いて、生活とむすびついてるものだと知り、親近感がわきました（20代女性）

（まとめ）

参加者には年配の方から家族連れまで幅広い年齢層の方が参加していただき、実際に若狭地域の妖怪伝承地を歩き訪ねながら話を聞いていくうちに、その地域や歴史のことまで熱心に興味をもってくれた。講座を終えてこどもに伝えたい・友達に話したい・もっと知りたいという声があがり本講座の趣旨が十分伝わっているように思われる。妖怪を通じて地域の歴史・文化をより身近に感じて関心をもっていただけたように感じた。

春の料理教室～白砂糖、乳製品、卵を使わない作るケーキとタルト～

趣 旨：卵、乳製品にアレルギーのある方も安心して食べられるお菓子づくりをする。食と健康に興味・関心が高まっている昨今、美味しくて心も体も喜ぶお菓子の作り方を学び、家庭や友人と楽しんでもらいたい。

日 時：平成27年4月20日（月） 19：00～21：00

場 所：那覇市若狭公民館 実習室

対 象：那覇市在住、在勤、在学の18歳以上の方

参加費：600円（材料費・保険料）

定 員：20名（先着順）

参加者：19名

講 師：滋野 悅子（おばんざい料理「tsumugi」経営者）



（参加者の声）

- ・初対面の方や先生方と一緒に協力しあって料理をすることが本当に楽しかったです。
- ・まったく期待せずに参加しましたが、素晴らしい講座でした。
- ・乳製品・砂糖をまったく使わずおいしいスイーツがこんなに簡単にできるのに感動しました。

（まとめ）

人数をぎりぎりまで受け入れたため、ぎゅうぎゅう詰めになってしまったが、初対面の参加者同士も楽しく会話しながら、協力して作業している光景など見られ、とても良い雰囲気だった。

また、お菓子の作り方だけでなく、月の満ち欠けと体のリズムの話や、それその時期に食べると良い食べ物の話なども話していただき、みな真剣に耳を傾け、終了後は質問などもしている姿も見えた。

参加者の様子やアンケートからも、食と健康に関心が高い方が多いことを感じた。

夏の料理教室～手軽で楽しい燻製作り～

趣 旨：暑い日が続き、食欲も減退し夏バテ気味になりやすい時期なので、健康に夏を乗り切るため、手作り燻製で食欲増進を図る。また、燻製にする事により食材の保存性を高めるとともに風味を付加し、普段と違った食感や香り、味わいを楽しむ。

日 時：平成27年8月15日（土） 18:00～20:00

場 所：若狭公民館 実習室

対 象：那覇市在住、在勤、在学の18歳以上の方

参加費：1000円（材料費・保険料）

定 員：16名（先着順）

参加者：15名

講 師：石田 俊輔（沖縄燻製 豚マニア代表）



（参加者の声）

- ・今回はじめて体験しました。手順などわかりやすい説明と気さくな雰囲気が良かったです。
- ・食材の種類も思ったより多く、楽しかったです。自宅でもすぐにできそうです。
- ・前からやってみたかった燻製、わかりやすく教えて頂いて、よくわかりました！たくさんの種類で試せて講座として中身が濃くてよかったです！

（まとめ）

室内での燻製づくりだったため、だいぶ煙が立ち込めてしまったが、参加者がとても楽しそうに参加していたのが印象的だった。料理でありながら、実験のような楽しさもあり、教えて頂いた基本の知識をもとに各自が発展させられるところも魅力だと感じた。

同じ食材でも各テーブルでの出来具合も差があり、よそのところのものと食べ比べしたことでも交流になつており、講師の先生の雰囲気作りも素晴らしい。

私にできること①

趣 旨：社会や人々のために様々な分野で活動されている方々にお話を伺い、「できること」のアプローチ方法には様々なやり方があることを知ってもらい、社会に対して「できること」を見つけ行動するきっかけとなることが狙い。第1回目は、「自分の力を社会に生かすには？」をテーマに、daimonの糸数温子さんにお話を伺った。

日 時：平成27年8月21日（金）19：00～21：00

場 所：若狭公民館 第1研修室

対 象：那覇市在住、在勤、在学の18歳以上の方

参加費：無料

定員：30名

参加人数：11名

学習プログラム

月日	講師	内容	人数
8月21日（金）	糸数 温子（daimon代表）	糸数さんが主宰をしている女子フットサル大会『daimoカップ』の仕組みや考え方などのお話や、応援や協力という形の社会参加が一番必要とされていて、気軽にできる「できること」という話など伺った。	11



（参加者の声）

- ・「できるかできないかではなく、やるかやらないか。」この言葉を胸に生きてていきます。
- ・大きく構えるのではなく、自分の身の丈に合わせたことから動いていくというコンセプトが感じられ、受講が楽しいです。
- ・発言しやすい雰囲気でよかったです。糸数さんのお話は、等身大で難しくなく、わかりやすかったです。

（まとめ）

糸数さんのされているdaimonカップは、規模も大きく仕組みも非常によく考えられていて、誰でもが簡単に真似できるようなものではないが、その活動の中で「応援や協力が一番必要と感じた。」というのが印象的だった。社会貢献というと身構えてしまうが、daimonでは楽しくイベントに参加しながら、無理なく社会貢献ができるところが素晴らしいと感じた。このような活動から、社会貢献は楽しいというイメージを多くの人が持てるようになると良いなと思う。

私にできること②

趣旨：社会や人々のために様々な分野で活動されている方々にお話を伺い、「できること」のアプローチ方法には様々なやり方があることを知ってもらい、社会に対して「できること」を見つけ行動するきっかけとなることが狙い。2回目はバルーンで楽しく社会とのつながりを作っている新垣麗さんをゲストに迎え、社会貢献の様々な形や可能性を考える。

日時：平成27年9月25日（金）19：00～21：00

場所：若狭公民館 第1研修室

対象：那覇市在住、在勤、在学の18歳以上の方

参加費：無料

定員：30名

参加人数：25名

学習プログラム

月日	講師	内容	人数
9月25日（金）	新垣 麗 (REInbow-Balloon creators-主宰)	「自分にとって楽しいこと、好きなことで社会とつながる」というテーマで、それを体現されている新垣さんにお話を伺った。 バルーンがコミュニケーションツールになっているというお話など、作ることだけでなく、人とのつながりに楽しさを見出している点も興味深かった。	25



(参加者の声)

- ・自分の好きなことが人を結び、誰かを喜ばせることができるのはとても嬉しい楽しいことだと思う。もっと自分の気持ちに向き合ってみようと思いました。

これから自分がやりたいことに対するヒントが得られた。また、そのことに取り組むために必要な勇気がもらえた。

(まとめ)

最初に参加者の皆さんにもバルーン作りを体験していただいたこともあり、会場の雰囲気が良かった。

自分の心の声を丁寧に聞き進んできた講師の新垣さんのお話は、普遍的でとても聞きやすく、参加者の心にも届きやすかった様子であった。何をしていても、人とのつながりを大事にしていれば、世の中とも繋がつていけるのではないかと感じた。

私にできること③

趣 旨：社会や人々のために様々な分野で活動されている方々にお話を伺い、「できること」のアプローチ方法には様々なやり方があることに気づく機会として開催。参加者が「できること」を見つけ行動するきっかけとしてもらいたい。3回目は「知ること」によってできることがあることを知り、そのためにはどのように情報を得て、知識を使っていくことができるかについて考える。

日 時：平成27年10月28日（水）19：00～21：00

場 所：若狭公民館 第1研修室

対 象：那覇市在住、在勤、在学の18歳以上の方

参加費：無料

定員：30名 参加人数：17名

学習プログラム

月日	講師	内容	人数
10月28日（水）	津嶋 としひと (マルチミュージシャン)	知ることもできること、というテーマでお話を伺った。知ることで相手のことを理解できるようになり、助けることができることなど話して頂いた。	17



(参加者の声)

- ・モロッコの音楽、異文化に触れられてよかったです。津嶋さんの人柄を通して「知る」ということに対して価値観が変わった。
- ・実際の体験を通して感じた話でとても貴重だった。
- ・ムスリムの現状を聞けたからよかったです。

(まとめ)

「知る」ということが果たす役割には、とても大きな力があると感じた。知るためにには、やってみることが大事という話の例では、ラマダン（断食）をやってみた時の話をして頂いた。やってみると、想像できない辛さや気づきがあり、ムスリムに対する尊敬と理解が深まったとのこと。知識として知るだけでなく、情報を相手への理解のために使うことはとても大切なことだと感じた。

私にできること④

趣 旨：社会や人々のために様々な分野で活動されている方々にお話を伺い、「できること」のアプローチ方法には様々なやり方があることを知ってもらい、社会に対して「できること」を見つけ行動するきっかけとなることが狙い。4回目は社会に生きる一員として個々が持つ役割が必ずある、という観点からお話を伺い、自分の役割について考える場とする。

日 時：平成27年12月21日（金）19:00～21:00

場 所：若狭公民館 第1研修室

対 象：那覇市在住、在勤、在学の18歳以上の方

参加費：無料

定員：30名 参加人数：25名

学習プログラム

月日	講師	内容	人数
12月21日（月）	村田 涼子 (若竹福祉会 総合施設長)	『生涯、みんなが役割を持っている。』というテーマでお話を伺った。弱い立場の人も、たくさんの手をかりることで大きな広がりをつくることできる強い人である、などのお話を下さった。	25



（参加者の声）

- ・講座名の「私にできること」という着眼点が素晴らしいと思います。大きく構えるのではなく、自分の身の丈に合わせたことから動いていくというコンセプトが感じられ、受講が楽しいです。
- ・3、4回の講座を受けましたが、1、2回のレポートを見ても生き方とか気づくことのある良い講座だと思いますので、今後も地域の人のためになる講座の開設、よろしくお願ひします。
- ・人生における貴重な学びをありがとうございます。自分を大事にしながら社会貢献ができるようにがんばります。

（まとめ）

ボランティアから福祉の世界に入り、30年以上も活動されている講師の先生の生の声に触れ、ノウハウではなく、想いがいかに大切かということが伝わる素晴らしい話だった。それぞれができることをできる範囲でやっていこうという趣旨のトークショーだったが、心を豊かにし、内面を成長させていくと、できることも他人に対してあげたいことも増えていくのではないかと気付かされた。

[2] 成人講座

マイナンバーの疑問お答えします。

趣 旨： 今年1月よりマイナンバー制度が導入され、様々な不安のある中、この機会にマイナンバーに対する知識を身につけて、安全に取り扱えるように学ぶことを目的とする。

日 時： 平成28年2月5日（金）19:00～20:30

場 所： 若狭公民館 第1研修室

対 象： 那覇市在住・在勤・在学の方

受講料： 無料

定 員： 30人（先着順で定員に達し次第しめきり

参加人数： 23人

講 師： 新田 恭子（新田恭子税理士事務所 所長）

プログラム

1. マイナンバーで変わること
2. マイナンバーでしてはいけないこと
3. マイナンバーQ&A
4. マイナンバー記載書類の例と記載時期



(受講者の声)

- ・マイナンバーへの疑問が一応理解できました。わかりやすく説明して頂き有難うございました。とりあえず、保管に注意したいと思います。
- ・今回で少し理解できました。さらに詳しく知りたいと思います。
- ・良くわからなかつたマイナンバー制度でしたが、今回わかりやすくお話しして下さったので理解できました。マイナンバー制度に不満はあるものの導入されてしまったこの制度、使わなくて済む様にならないかなー。保管が大変です。国民にとって良いこと何も無いように思います。
- ・メリット・デメリット等ほとんどの人が良くわからないと思う。今後の周知を徹底させることが重要だと思います。

(まとめ)

平成27年10月から住民票を有する全ての国民にマイナンバーの通知が届けられ、平成28年1月からは、行政手続きの際マイナンバーが必要になるとの事。「そもそもマイナンバーって何なの？どうしてマイナンバーが必要なの？どんな時にマイナンバーを使うの？」等々・・・。地域からのそんな声に応え、講座を開きました。今回は、マイナンバーの利用範囲について ①税②社会保障③災害対策 この3つの事に限定して利用開始された事。通知カード・個人番号カードは、他人に見せたり、貸してはいけない事。また、個人番号カードの裏面をコピーさせてはいけない。といった事を、理解していただけました。今回の講座では、これだけ理解して頂ければ目的は達成できたと思います。時間を置いて再びマイナンバーの講座を開きたいと思う。

〔3〕健康講座

みんなで楽しくウォーキング「健康づくりの第一歩」

趣 旨： 歩く習慣をつけることにより、日頃の運動不足と生活習慣病の予防と改善に心掛け、健康でより明るい日常を送る事を目指すと共に11月15日に予定されている“ひやみかち なはウォーク”にみんな揃って参加する。

日 時： 平成27年10月16・23・30日（金）19：00～21：00の全3回

場 所： 若狭公民館 ホール他

対 象： 那覇市在住・在勤・在学の方

受講料： 無料（ただし、保険料として200円を徴収します。）

定 員： 30人（先着順で定員に達し次第しめきり

参加延べ人数：34人

講 師： 堀川 恒登（那覇市スポーツ推進委員・理学療法士）

プログラム

	実施日	内 容	活動場所	参加人数
第1回	10月16日	ウォーキングの基礎と効果的な歩き方を学ぶ	若狭公民館ホール	14人
第2回	10月23日	ウォーキングの注意点及びマナーについて	若狭海浜公園	7人
第3回	10月30日	大門まーいの一部を歩いてみよう！！	ウォーキングコース	13人



（受講者の声）

- ・ 大変楽しく参加させていただきました。
- ・ ふだん運動不足を感じていましたが、今回ウォーキング講座があるというので参加しました。皆で行うウォーキングは楽しく、講師の話も大変ためになりました。
- ・ 毎日の生活に運動を取り入れようと思いつつもなかなかできません。今回の講座をきっかけにウォーキングを始めてみようと思います。

（まとめ）

手軽に実践できる運動法の一つとしてウォーキングがあります。今回の講座を通してウォーキングの様々な効果を受講者に伝えることが出来たと思います。雨により1日しか外での実施が出来ませんでしたが、今後も継続して日常にウォーキングを取り入れ、健康で楽しい毎日を過ごす事が出来る様、引き続き声掛けをして行きたいと思います。

今回の講座で学んだことを生かし、11月15日の“ひやみかち なはウォーク”をみんなで楽しみたいと思います。

操 体 法

趣 旨： 私達の体は、環境の変化や生活習慣などにより、自然の法則から大きく外れると体の構造に歪みが生じてしまう。そんな体の歪みを正し、自助免疫力を高め、病気になりにくい体づくりすることを目的とする。

日 時： 平成27年10月19（月）・20（火）・22日（木）19：00～21：00の全3回

場 所： 那覇市若狭公民館 和室

対 象： 那覇市在住・在勤・在学の方

受講料： 無料（ただし、保険料として200円を徴収）

定 員： 15人（先着順で定員に達し次第しめきり

参加延べ人数： 81人

講 師： 比嘉 幸子（沖縄県操作法研究所 所長）

プログラム

	実施日	内 容	実 技	参加人数
第1回	10月19日	体の構造と操作の原理	基本の姿勢と動き	14人
第2回	10月20日	日常生活の中での原理	呼吸とからだの動き	7人
第3回	10月22日	生活に活かす体の使い方	叩打法（こうだほう）・まとめ	13人



（受講者の声）

- ・ 大変楽しく参加させて頂きました。また、寝起きが良くなりました。楽しく出来る健康法だと思います。是非、続けたいと思います。
- ・ 大変わかりやすい説明で良かった。体の変化がすぐわかつておもしろかったです。
- ・ 活気があって、皆さん明るくて楽しい雰囲気で受講できました。先生の説明もわかりやすく、お話しも楽しく勉強になりました。

（まとめ）

操作では、腰の痛み、肩のこり、ひざの痛みなどの諸症状は、体の正常な機能として生体の歪みを知らせるサインであるといわれています。体の仕組みを利用し、バランスの取れた体づくりをし健康で楽しい生活を送るために役立て頂ければと思い講座を企画しました。だれにでも無理なく出来る運動というところが皆さんに受け入れられたのではないかと思います。是非続けて欲しいとの受講者の声により早速サークルを立ち上げ活動する事になりました。

3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

認知症について正しく学ぶ

趣 旨：現在85歳以上では、4人に1人の割合で症状があるといわれている。認知症は、誰にでも起こりうる病気だからこそ早期発見・早期治療が大切である。健康で充実した自分らしい老後を楽しむために、認知症を正しく理解する。

日 時：平成27年9月29日（火）・30日（水）午後2時～4時の全2回

場 所：若狭公民館 第1研修室

対 象：那覇市在住・在勤・在学で65歳以上の方

受講料：無料

定 員：30人（先着順で定員に達し次第しめきり）

参加延べ人数：63人

協 力：包括支援センター（若狭・おもろまち・安里・松尾）推進委員、 サマリヤ人病院 相談
プログラム

9月29日（火）	9月30日（水）
若狭公民館館長あいさつ	講話 ・尊厳を持って最後まで自分らしく老後を送るために知っておきたいことや決めておくこと
講話 ・認知症の症状と対策について 早期発見、早期受診。早期治療	楽しく脳トレ（歌は脳を若返らせる！） 懐かしい歌を楽しく歌う
予防に向けた運動 ストレッチ・・・コグニサイズ	質疑応答・アンケート
質疑応答・アンケート・連絡事項	終わりのあいさつ
参加人数： 36人	参加人数： 27人



（受講者の声）

- ・2日間ではありましたが、大変参考になりました。今回教えて頂いた事を実行していきたいと思います。
- ・認知症に対する心構えが少し出来た様に思います。有意義な講座ありがとうございます。
- ・早川先生の語りかけ楽しく良い時を過ごす事が出来ました。今までの不安な思いが軽くなりました。周囲への気配りも考えて行きたいと思います。

（まとめ）

尊厳を持って最後まで自分らしくありたい。誰もが望むことですが、この願いをはばむ深刻な問題のひとつになっているのが認知症です。いまや老後の最大の不安となり、高齢社会を突き進む日本にとって最重要課題の一つとなっています。この機会に認知症について正しく学び、適度な運動・バランスの取れた食事・活発な精神活動の維持に心掛け、健康で充実した老後を送れる様、引き続き取り組んでいきたい。

4 青少年対象事業

[1] 少年教室

変身！ダンボールおもしろ講座

趣 旨： 身近な素材を新しいものに作り変える方法を学び、その楽しさを体験する。また、今後も創意工夫しながら何かを作つてみようという行動につなげる。

期 間： ①平成27年8月12日（水） ②8月13日（木） ③8月14日（金） 全3回

時 間： ①9：30～12：30 ②9：30～12：30 ③9：30～15：30

場 所： 若狭公民館 第1研修室・ホール

対 象： 那覇市在住、在学の小学4・5・6年生

受講料： 無料（但し保険料・材料費代として、300円）

参加人数： 延べ39人

学習プログラム

回	月 日	内 容	講 師	人 数
①	8月12日	ダンボールを分解し、紙にしたものでノートを作る。	儀間 朝龍 (アーティスト)	12
②	8月13日	ダンボールの歴史や特性を学び、オリジナル本棚を作る。	島袋 勝也 (総合紙器株式会社)	17
③	8月14日	大きなダンボール怪獣を作り、中に入つて遊ぶ。	真喜屋 力 (映画監督)	10



ノートに変身！



本棚に変身！



怪獣に変身！

(受講者の声)

- ・ 身近なものでノートが作れたので、活用したいです。
- ・ きれいにできたからうれしかったです。
- ・ みんな上手にできていたし、私も上手にできたのでうれしかったです。
- ・ 少し難しかったけど、楽しかった。
- ・ 怪獣の中に入れたので楽しかったし、自分たちで作れたのでよかったです。
- ・ 仕掛けや飾りをつけたりするのが楽しかったので、またやりたいです。

(まとめ)

全3回を通して、それぞれダンボールの異なった活用方法を学び、楽しむことができた。始めは、カッターなどの道具をうまく使うことができるか心配だったが、ケガもなく、上手に使っていたので安心した。

1日目は新しい視点と方法を発見することができ、2日目では試行錯誤しながら作品を仕上げる達成感を得て、3日目では発想力を發揮した創作をし、いつもと違う遊び方を楽しんだ講座となった。

今回の講座を体験したこと、今後も“創作する楽しさ”を積極的に味わってほしいと思う。

地域連携事業

曙小学校プラスバンド部 夏季合宿

趣 旨：曙小学校に発足したばかりのプラスバンドの立ち上げ支援の一環として、夏季合宿を行う。

夏休み以降に行われる幾つかの発表の場に向けて、演奏技術の向上と結束力を強めることを目的とする。

期 間：平成27年8月10日（月）14：00～ 平成27年8月11日（火）14：00

場 所：若狭公民館

参加者：6名



（参加者の声）

- ・久しぶりに友達と泊まって楽しかった。
- ・プラスバンド部の初めての合宿なので、とても嬉しかったです。ジャズフェスティバルの人たちが来てく
れて、さらに上手になった気がします。新しい曲にもチャレンジして、バイオリンの先生たちが演奏して
くれて嬉しかったです。また合宿をしたいです。
- ・学ぶことが多いと感じました。

（まとめ）

メンバー同士の親睦を深められたことに加え、沖縄ジャズ協会の方が講師にいらしてくださいったり、朝食
会にいらしている方がレクレーションの場で演奏してくださったりなど、普段接しない大人との交流もでき
てよかったです。

曙小学校の子どもたちは若狭地域に来ることは少ないので公園でラジオ体操をしたことや、医療法人陽心
会のシャワールームを借りに行くなどしたことで知らない地域に触れたことも良い体験だったと思う。

〔2〕青年のための講座・交流事業

ボーッとしないでVOTEしよう！どうする？18歳からの選挙権

趣 旨：今年6月に公職選挙法が改正され選挙権が20歳以上から18歳に引き下げられた。また選挙の投票率低下が深刻な状況において、今回対象となる18歳の世代は勿論、選挙権を既にもっている世代も一緒になって 今一度選挙へ投票する意義を考える。

講 師：新田 繁睦（一般社団法人daimon副代表）

期 日：平成27年11月15日（日）10：00～16：00

場 所：若狭公民館 第一研修室

参加者：7人

対 象：高校生～30代の方で、那覇市在住、在勤、在学の方

プログラム

	時 間	内 容		人数
1	10：00～ 12：00	まちづくりゲーム	参加者同士で「架空の島」の住民になってもらい島のどこに空港や病院を建てるかなど話しながらかかる費用や見えてくる島の課題について話し合う	6
2	13：00～ 16：00	選挙について 講和・討議	選挙の年代別投票率グラフや講師の話を交えながら参加者からも意見を出し合い、現状の課題を見つめ直す。出てきた課題や町の声を活かすためにはどのような手段があるかを考える。	7



（参加者の声）

- ・投票がどれほど大切な物か、知ることができた。（10代男性）
- ・いろんな人の意見・考えが聞けて、新たな発見がありました。これを周りの人に伝えようと思います（20代女性）
- ・（ほかの）参加者が日頃何に不満を感じているのかを知った。（20歳女性）
- ・講座の内容を肌で知りたかった。18歳に選挙権がおりた理由がわかりました。（50代女性）

（まとめ）

参加者数は少数だったが、当日テレビ・新聞等各メディアから本講座の取材を受けるなど関心の高さを感じた。参加者も現役高校生や教育現場で働いている方、また高校生を子供に持つ親など様々な立場の方が参加し、それぞれの視点から意見を出し合い、考えることができた。

[3] 放課後子ども教室

若狭公民館地域子ども教室

趣 旨： 放課後の子どもたちの居場所づくりとしながら郷土の芸能、エイサーに触れる機会とする。また地域行事に参加することで、将来、主体的に地域づくりに参画できる人材になることを目的とする。

日 時： 平成27年4月1日～平成28年3月31日（練習日）毎週火・木曜日17:00～18:00

場 所： 若狭公民館 ホール及び第1研修室

対 象： 若狭小学校、天妃小学校、那覇中学校の児童生徒

登録児童： 25人

参加延べ人数： 1897人

指導者： 岸本麗子（若狭1丁目自治会会长/若狭小学校校区まちづくり協議会子ども育成部会長）

【参加イベントの内容】

4月	大型旅客船バースで見送り演舞・波の上ビーチ「海びらき」 若狭二丁目自治会総会
5月	なんみん祭 行列・中学修学旅行生との交流会
6月	那覇市民憲章表彰式・大型旅客船バースで見送り演舞
7月	遊YOU塾（宮城県）交流会
8月	一万人エイサー踊り隊
9月	若狭二丁目自治会敬老会・若狭一丁目自治会敬老会と夏祭り・天久台病院敬老会・大型旅客船バースで見送り演舞
10月	大型旅客船バースで見送り演舞・マグロ祭り
11月	第19回若狭地域文化祭・天妃小PTA主催「天妃っ子まつり」・ちんどん屋とパレード ひやみかちウォーク給水ポイントでの激励演舞
12月	大型旅客船バースで見送り演舞・沖福祭・マックスバリュ若狭店「一周年セレモニー」・ クリスマス会
1月	新春もちつき大会・龍柱お披露目セレモニー
2月	クルーズ船またんめんそーれフェスタ・若狭一丁目自治会生年祝い
3月	若狭公民館まつり・遊YOU塾（静岡県）交流会



マックスバリュ一周年セレモニー



一万人エイサー



クリスマス会

（受講者の声）

- ・エイサーが踊れるようになったので好きになった。
- ・交流会などで県外の友達ができたり、クリスマス会があつたりして楽しかった。

（まとめ）

地域行事や交流会に積極的に参加することで、多様な人ともふれあうことができ良い体験になったと思う。

5 家庭教育事業

[1] 家庭教育学級

子育て勉強会～子育てをとおして豊かな時間を～

趣 旨： 保護者が子育ての中で感じている不安や疑問などを互いに話したり、講師からアドバイスを受けることなどで子育てを通してより豊かな時間を過ごすための機会にする。

期 間： ①平成27年11月28日（土） ②12月12日（土）

③平成28年1月16日（土） ④1月30日（土） ⑤2月13日（土）

時 間： 14:00～16:00

場 所： 若狭公民館 第2研修室

対 象： 那覇市在住、在学の方

受講料： 無料

参加延べ人数： 28人

学習プログラム

回	月 日	内 容	講 師	人 数
①	11月28日	感覚統合と子どもの知能 などについて	島袋 松秀、佐渡山 要	4人
②	12月12日	子どものほめ方、言葉の概念の違い、男女の差異、お手軽愛情食 などについて	高江 美奈子、西平 みゆき 佐渡山 要	5人
③	1月16日	様々な教育理論 などについて	佐渡山 要	6人
④	1月30日	高校入試、学ぶこと などについて	佐渡山 要	9人
⑤	2月13日	総括 その他	佐渡山 要	4人



(受講者の声)

- ・子どもへの対応のヒントをいただきました。かんたんな訓練で変わる様子を聞けてよかったです。（第1回）
- ・子どもとの距離感、声かけの仕方など、コミュニケーションの大切さを改めて認識しました。（第2回）
- ・少し視点を変えることで力んでいた部分、もう少し加減していくいい部分が見えたかなと思いました。（第3回）
- ・この春中学入学を控え、未知の世界（学習面において）について話が聞けてよかったです。（第4回）
- ・スケジュール作成→人生のスケジュール作成につながる→対応策を考えるにつながる。子どもが将来のことをいろいろ考えているので、この方法を伝えることができるといいな。（第5回）

（まとめ）

個々人にあった学習方法や男女差、発達段階などについて知ることで、保護者の気持ちにゆとりができたり、少し客観的に事象をとらえることができるようになるのではないかと思う。また、講座の形をお茶の間談義形式にしたことで、保護者からの積極的な質問があり、充実した講座になった。

5 その他事業

[1] 地域連携事業

第19回 若狭地域文化祭

趣 旨：地域特性を活かし地域住民が関係機関・団体と連携・協力して文化的行事を企画実施することで、高齢者から幼児・児童・生徒までの三世代間の交流と地域の連帯意識の強化を柱に、祭りに訪れる県内外の観光客との交流を図り、地域文化を再認識するとともに、新たな文化を掘り起こし発信することにより、青少年の健全育成と豊かで活気に満ちた潤いのある地域を創ることを目的とする。

日 時：平成27年11月7日（土） 13：30～18：30

場 所：若狭海浜公園

参加人数：3,500人

主 催：NPO法人地域サポートわかさ

【 内 容 】

舞台発表	マーチング、エイサー、獅子舞、旗頭、手話ダンス、空手、ベリーダンス 他
こどもイベント広場	エアートランポリン、ニュースポーツ体験、ヤギと遊ぼう！ 他
各種ブース	無料健康相談、NSPCパネル展、コスプレイベント
出 店	若狭小学校創立60周年資金造成、地域サポートわかさ 他



（まとめ）

第19回を数える若狭地域文化祭は、若狭近隣地域の各自治会および小・中学校、保育所、ならびに各社会教育関係団体からなる実行委員会を立ち上げ、地域住民が主体となって企画・運営している。

舞台発表は、幼児、児童・生徒、地域婦人部、サークル団体等の発表の場となっているほか、獅子舞、エイサー、琉舞道場の演舞もあり、地域の芸能文化に触れる機会となっている。こどもイベント広場では、多様な機関及び団体に協力を得て内容を充実させることができた。また、若狭小学校60周年記念事業期成会による出店も充実しており、活気のあるお祭りとなった。様々な機関・団体が主体的に関わって作り上げることができたことは今後の地域づくりにも繋がると期待できる。

CGG年末美化清掃プラスONE

趣 旨：地域の各機関が一丸となって清掃をし、親睦を通して青少年健全育成を図る。自治会、婦人会、小中高生、PTA関係者、NPO、公民館利用団体が参加し、若狭地域にある公園、道路、地域の清掃を実施しプラスONE活動として若狭公民館利用団体連絡協議会による振舞いなべ（豚汁）を食べることえで、親睦を深まることを趣旨とする。

期 間：平成27年12月13日（日）9：30～12：00

会 場：旭ヶ丘公園、若狭海浜公園、若狭公園、地域清掃（若狭中通り）

対 象：若狭小学校地区の保育園・幼稚園・小・中・高校生、自治会、婦人会、老人会、PTA関係者など

参加者：250人

プログラム

	時 間	内 容		人 数
1	9：30～11：00	地域清掃	オープニング、地域の清掃（若狭海浜公園・若狭公園・旭ヶ丘公園ほか）	250
2	11：00～12：00	シンメーナービ 交流会	シンメーナービで豚汁・おにぎりを食べながら交流会（若狭公民館駐車場）	200



<主な参加団体>

ナハ・シーパラダイス協議会／若狭1丁目自治会／若狭2丁目自治会／若狭3丁目自治会／若狭めおと自治会
若狭公民館利用団体連絡協議会／若狭小学校／那覇中学校（順不同）

（まとめ）

地域が主体となりCGGの呼びかけを行う本事業も第11回目。自治会、学校、その他団体が参加し、旭ヶ丘公園、若狭海浜公園、若狭公園で、普段目が届かない所にある燃えるゴミ、燃えないゴミ、草木類、カン、BIN、ペットボトル等の清掃を行った。

清掃終了後のプラスONE活動として、若狭公民館利用団体連絡協議会の協力でシンメーナービによる豚汁とおにぎりを振舞い、参加者同士の交流を深めることができた。

地域交流事業

新春 もちつき大会

趣 旨：地域の皆さまの健康と子ども達の健やかな成長を願って餅について新年を祝う。また、地域住民の交流と親睦を深め、豊かな潤いのある地域づくりをはかることを目的とする。

日 時：平成28年1月9日（土） 10：00～12：00

場 所：若狭公民館玄関前

対 象：地域住民

参加費：無料

参加人数：参加者延べ人数：300名

【 プログラム 】

■開会の挨拶（若狭公民館館長 宮城潤）

■主催者挨拶（NPO法人 地域サポートわかさ 理事長 早川忠光）

■激励の言葉（若狭小学校校長 渡辺英二）

■新成人の挨拶

■オープニング お正月の歌「一月一日」

合奏と獅子舞（あゆみ幼稚園）

子どもエイサー（若狭ちむどんどん太鼓）

獅子舞（波上宮獅子舞保存会）

■注意事項 若狭公民館 真喜屋志保

■つき始め式 関係者紹介（若狭公民館館長 宮城潤）

つき始め（各自治会会长および関係者）

■餅つき体験と振る舞い餅



（参加者の声）

- ・子ども達にもちつきを体験させることができて良かった。
- ・つきたてのおもちがとてもおいしかった。

（まとめ）

天気にも恵まれ、新年の清々しい雰囲気の中、幼児から高齢者までたくさんの方が集い、楽しい餅つき大会となった。振るまい餅で毎年混雑していた反省を生かし、動線など考えたことが功をなし、比較的スムーズにいったことも良かった。

100人で朝食会

趣 旨：平成19年11月から毎月1回開催しているおかず一品持ち寄り「朝食会」の100回記念として開催する。申し込み不要で気軽に参加できる「朝食会」は、世代や属性を越えて多様な人が交流できる場となっており、そこから様々なイベントも生まれている。公民館が多様な人が集まる地域の交流拠点であることを発信する目的で企画・実施する。

日 時：平成28年1月23日（土） 8：30～11：30

場 所：若狭公民館ホール

対 象：若狭公民館地域住民

参加費：無料（箸、皿、コップ持参） ※おかず一品持ち寄り

参加人数：80人 取材及び見学者：10人



（参加者の声）

- ・初参加ですが、とても素敵な機会に恵まれました。いい取り組みですね。いろんなお料理、お粥がおいしかったです。ありがとうございました。
- ・息子がテレビに映ったみたいで友人たちから反響がありました。次は他の人も一緒に連れて行きたいです。

（まとめ）

目標の100人には届かなかったが、悪天候にもかかわらず80の方に参加いただくことができた。人数が多くなったこともあり進行面での課題も見られたが、参加者が主体的に運営に関わることで、終始和やかな雰囲気の中で交流を深めることができた。また、テレビニュースの取材も入り、公民館での取り組みについて広く発信することができたことは、今後の展開につながるものと期待する。

第21回ナイトウォーク

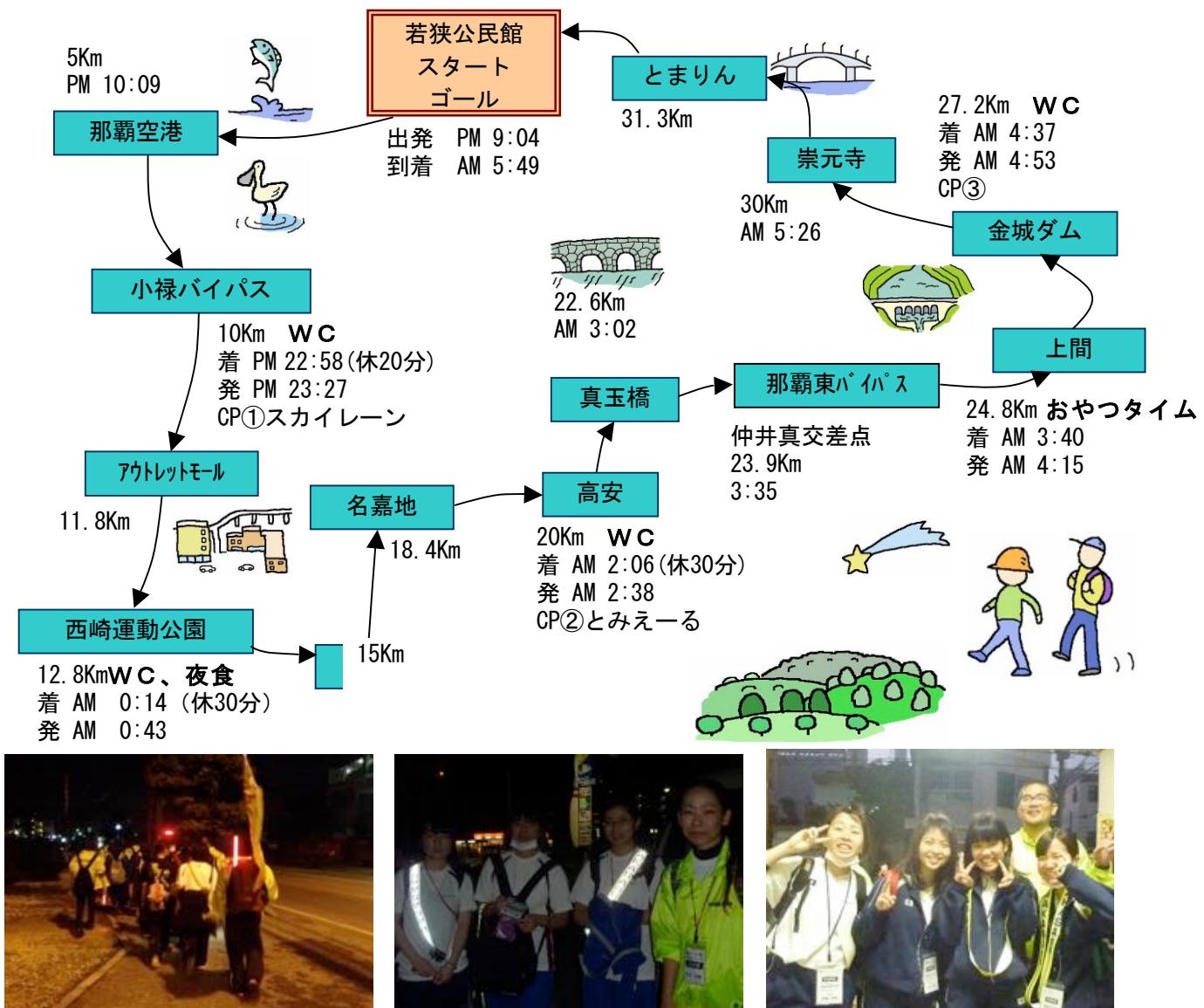
趣旨：中学生が、非日常的な体験の中でお互いに励まし合い、助け合いながらゴールを目指すことにより連帯感・達成感・充実感を共有し、友情を深め困難に立ち向かう気力を培うことを目的とする。

期日：平成28年3月19日（土）19:30集合～20日（日）7:30解散

対象：那覇中学校及び上山中学校の生徒

参加費：1,000円（夜食・朝食・おやつ代、保険料その他）

参加人数：53人　スタッフ40人（職員を含む）　コース：32キロ



左：歩行中の様子、横断時はスタッフが安全指導／中：参加生徒と同行するスタッフ／右：32kmを歩ききってゴール！

(まとめ)

今年で21年目となるナイトウォークは、医療法人陽心会をはじめ、地域の方々、那覇市ウォーキング協会、那覇市職員などの協力を得て、事故や怪我もなく、無事に終了することができた。天候にも恵まれ歩ききる事ができた。今年度は3年生の参加が少なかった。今後は日程や広報を工夫し、より多くの3年生が参加できるようにしたい。

地域連携事業

曙小学校ブラスバンド部立ち上げ支援

趣 旨：若狭公民館の所轄エリアでありながら、今までつながりが持てなかつた曙小学校地区との連携を結ぶため、ブラスバンド部の指導者として立ち上げを支援した。

4年生～6年生を対象に、こどもたちの放課後の居場所として場を設け、親や学校の先生以外の大人的な関わりや学校外の行事参加などから視野を広げてもらうことも狙いとして定めた。

期 間：平成27年4月13日（月）～平成28年3月18日（金）の月・水・金

時 間：16:00～17:00

場 所：曙小学校音楽室

参加者：8名



（参加者の声）

- ・音楽は苦手だったけど、前よりは音楽を好きになりました。
- ・いろいろな経験をさせてもらってありがとうございました。
- ・来年もがんばりたいです。

（まとめ）

曙小学校の周辺は公民館や児童館などが多く、また部活も運動系のものしかなかったということで、新しい居場所として有意義な活動だと感じている。今後は地域の方の協力を得られるよう呼びかけにも力を入れていきたい。無理のないように体制を整えて、部活が今後も存続し発展していかれるよう、次年度以降も支援を続けたいと思う。

地域連携事業

第19回若狭地域文化祭特別企画 上山中学校コスプレカフェ

趣 旨：上山中学校の2年生が職場体験に来た際に、職員になったつもりで企画してもらった。公民館の特性や機能なども理解してもらった上で、企画を考えてもらうことで公民館のことを知ってもらい、さらにイベントを実際やってみることで、その経験をこれからの中学校生活や将来に生かしてもらうことが狙い。

日 時：平成27年9月8日（火）～11月7日（土）全8回

場 所：若狭海浜公園

参加者：9名

	月 日	時 間	内 容
事 前 準 備	9月8日（火）	16:30～17:00	なかなか仲間づくりが難しいコスプレファンの人々が、地域文化祭にコスプレをして遊びに来て、楽しみながら仲間づくりができるようにと、中学生自身が企画をした。売上を「のあちゃんを救う会」に募金したいと生徒から提案があり、商品の内容やお店の飾り付けなど話し合いを重ねた。 中心メンバーに加え、最後は手伝ってくれる生徒も増えた。
	10月1日（木）	16:00～17:00	
	10月7日（水）	16:00～17:00	
	10月16日（金）	16:00～17:00	
	10月29日（木）	16:00～18:00	
	11月5日（木）	16:30～17:30	
	11月6日（金）	16:00～19:00	
本 番	11月7日（土）	13:30～18:30	コスプレカフェということで、生徒たち自身もコスプレをし接客をした。飲み物やお菓子を売り、募金の呼びかけもしていた。



(参加者の)

- たくさんの方が協力してくれて、一人一人が少しづつ出してくれたお金が集まると大きなお金になって、募金ってすごいと思った。地域の人の温かさを改めて知ることができた。
- この企画がここまで大きくなるとは初めは思っていませんでした。コスプレカフェをやってみて、身近にいる人の優しさや、地域の人たちの明るさについて知ることができました。それに、これまで普通にみていた屋台をつくるのも大変で、たくさんの下準備があることもわかりました。とても参考になる良い経験になってよかったです。

(まとめ)

職場体験で、仮想の講座・イベント企画をしてもらったところ、発想が豊かで、考える力も十分に備わっていると感じたため、希望を聞いて実際に企画実行することとなった。

実際にやってみると、直前までだいぶのんびりしてなかなか開催する実感が湧いていない様子もあったが、売上を「のあちゃんを救う会」に募金したいなど自分たちで考え行動できる面もあり、当日は最後までがんばって募金活動をし、達成感も味わえた様子であった。

コスプレイイベントに詳しい地域の方からご支援もいただき、様々な方に協力してもらった経験もこどもたちにとって貴重な経験になったと感じる。

[2] その他事業

こども国際映画祭in沖縄（KIFFO）こどもワークショップ

趣 旨：「多感な時期に映画を通じて世界を感じてほしい。世代や地域を超えた人間関係の世界を広げてほしい。」との思いから開催されるこども国際映画祭in沖縄に向けて、こどもたちに映画の基礎知識を体験・習得してもらう。

期 間：平成27年9月22日（火・祝）、9月23日（水・祝）、9月27日（日）

時 間：13:00～17:00 全3回

場 所：若狭公民館 ホール

対 象：10歳～18歳

受 講 料：500円

参加人数：延べ145名

学習プログラム

回	月日	内容	講師	人数
1	9月22日	「映像探偵」と題し、地域のおもしろい映像をカメラで撮影する。その後上映会。	真喜屋 力 (映画監督)	47名
2	9月23日	「赤い風船の旅」と題し、アニメーション作成。その後上映会。	真喜屋 力 (映画監督)	49名
3	9月27日	映画祭とは？映画の魅力についてのお話。 ボイスオーバーにて短編映画（韓国）の上映。 映画についてグループごとにディスカッション・発表	宮平 貴子 (映画祭ディレクター)	49名



（まとめ）

全3回のこどもワークショップを通して、映像作品を作る楽しさや映画の魅力、他者とコミュニケーションをとりながら何かをするという喜びを感じることができたのではないか。1回目2回目では自分で作成した映像と他者が作成したものを見ることで視点の違いを楽しみ、3回目ではボイスオーバーという通常の映画とは違う方法で鑑賞を楽しむことができた。また、事前に大人ボランティアスタッフにも同じワークショップを行い、講師の補佐ができるようにしたので、こどもワークショップもスムーズに行うことができた。

公民館まつり

第24回 若狭公民館まつり

趣 旨：若狭公民館で活動している団体（サークル）の活動成果を発表・展示することにより、団体の学習活動継続への刺激を与え、団体（サークル）相互の連携を深めること。また、若狭および周辺地域を巻き込んだ「地域まつり」的な性格をもつ、まつりとしたい。

期 間：平成28年2月13日（土）、20日（土）、2月21日（日）

会 場：若狭公民館 参加延べ人数：2782人

主 催：若狭公民館利用団体連絡協議会

共 催：若狭公民館・図書館、NPO法人地域サポートわかさ

内 容	時 間	会 場	参加人員
社交ダンスパーティー	13日(土)18:30~21:00	ホール	100
オープニング	20日(土)13:00~13:40	公民館前道路	100
わくわくおはなしかい	20日(土)11:00~12:00	ホール	66
体験教室「楽しいボイストレーニング」	20日(土)14:00~15:30	ホール	60
展示発表	20日(土)10:00~17:00 21日(日)10:00~16:00	第1研修室	400
舞台発表	21日(日)12:00~16:00	ホール	1300
切り紙体験教室	21日(日)12:00~16:00	第2研修室	30
健康相談コーナー	21日(日)12:00~16:00	第2研修室	14
出店コーナー	21日(日)11:00~16:00	玄関	330
喫茶コーナー	20日(土)10:00~17:00 21日(日)10:00~16:00	2階ロビー	382



(まとめ)

第24回若狭公民館まつりは、若狭公民館利用団体連絡協議会（47団体）が中心となって、舞台発表、展示発表、運営などを行った。体験教室では今年度から若狭公民館で活動を始めたサークルと「ボイストレーニング教室」を開催し、老若男女問わず様々な方が参加し好評を得た。舞台発表では、地域サポートわかさの音響機材を使用したことにより、雑音が減少し、スムーズに運営することが出来た。多彩な演目により華やかではあったが、出演団体数が年々減少傾向にあるのは課題と言える。

公民館まつり風景



わくわくおはなしかい



オープニング



体験教室「楽しいボイストレーニング」



切り紙体験教室



展示発表



舞台発表



社交ダンスパーティー



喫茶コーナー